

「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」に係る 地域説明会の開催結果について

令和3年6月に、平塚市自治会連絡協議会定例役員会にて、「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き（概要版）」について、今後地区ごとに説明会を開催することを周知しました。

令和3年度は、市内2地区（城島地区、岡崎地区）の自治会長を対象に説明会を開催し、令和4年度は市内4地区（金目地区、豊田地区、旭北地区、旭南地区、土沢地区）にて開催しました。

今年度は神田地区（3 か所）で開催しましたので、報告します。

1 説明概要

- ・交通政策課の取組みや、交通事業者による各種割引制度の紹介等を通じた既存公共交通の利用促進や、様々なコミュニティ交通について説明。
- ・身近な交通の課題や困りごとについて、手引きを参考にしながら、地域での話し合いを通じて、市交通政策課に相談いただきたい。



「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き（概要版）」

2 各地区からの主な意見

<令和5年度>

(1) 田村地区（令和5年7月）

- ・特段の意見は無し

(2) 大神地区（令和5年5月）

- ・市民病院行きシャトルバスの利用状況はどうか。
- ・大神はバスが充実しているが、吉際は課題と思う。
- ・住民主体の地域内移送支援について、市内の事例を伺いたい。

(3) 横内地区（令和5年5月）

- ・住民主体の地域内移送支援について、市内の事例と福祉村でも実施可能か伺いたい。

(参考) <令和4年度以前の説明会における主な意見>

(1) 土沢地区（令和5年3月）

- ・小田急線の東海大学前駅に至るバスルートが出来ればと思う。
- ・上吉沢地区は交通空白地域が多く、バス停までの移動が大変な高齢者も多い
- ・秦野市や中井町でデマンド交通を実施していて、土沢地域も同じような状況の地域なので、取り組んでもらいたい。福祉の地域内移送についても、苦勞して担い手を探している。

(2) 旭南地区 (令和5年2月)

- ・公共交通を利用させたいのなら、割引券を配ったりしたらどうか。
- ・(地域によるコミュニティ交通の運営について) 自治会も2、3年で役員が交代していくから、責任を持ってない。

(3) 旭北地区 (令和5年1月)

- ・旭北と旭南で結ぶバス路線がないため、地域間を行き来できない。
- ・歩道のないバス停で、高齢者がしゃがみ込んでバスを待つ姿を見たことがある。
バス停沿いの壁を削るなどして屋根と椅子付きのバス停を作れないのか。
- ・朝夕が多くて、昼間時間帯が少ないケースが多い。30分に1本など、平均して本数があれば使いやすいと思う。

(4) 豊田地区 (令和4年7月)

- ・バス停まで遠いという声はある。病院などへ行きたいという声はあった。
- ・バス停に屋根がないのはかわいそうだ。
- ・豊田本郷と国道129号の東西間を行き来する時に困る。バスが通ってないから、市民病院に通うことになった場合、足に困ってしまう。
- ・免許返納した方向けにタクシー券補助を実施したらどうか。

(5) 金目地区 (令和4年6月)

- ・市役所や病院へダイレクトに向かう経路が無いため、新規に路線運行してほしい。
- ・東海大学の掲示門前を経由して平塚駅に向かうバス路線ができたが、途中バス停を増やす考えはないか。

(6) 岡崎地区 (令和3年11月)

- ・コミュニティバス等は、利用人数が確保できないため、導入は難しいと感じている。
- ・地区内のバス路線は充実しているが、高齢者等のバス停までの移動が課題。
- ・矢崎バス停まで出ないと平塚駅行バスに乗車できないことや伊勢原市の東海大学医学部付属病院や伊勢原協同病院へ直行するバスがないことに不便を感じる。

(7) 城島地区 (令和3年10月)

- ・市民病院へ行くために、平塚駅でバスを乗り継ぐ必要があり、不便を感じる。
- ・現在、1時間に1本程度の便数であり、バスの本数が増えないと利用者も増えないと思う。
- ・免許返納したいと考えてはいるが、バス料金が高いため躊躇してしまう。

3 今後の予定

大野地区、平塚地区、海岸地区に対して実施

以上